

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	目標に対するサービス内容に通常サービスの項目も見受けられる。利用者の個別性を優先し実施評価も可能なサービス内容となるような検討が望まれる。	ご利用者の個別性をつかみ、サービス内容として掲げることができる。	全てのご利用者に通ずる通常サービスの実施は当然行うこととしたうえで、個々に必要とされる生活面に特化したニーズを確実につかみ、その実現に近づけるための、実施可能で具体的なサービス内容の表記・実施に努めていく。	3ヶ月
2	35	被害想定は地震などの広域災害と停電も考えられる。広域災害時の職員の確保や停電対応など具体的事例による対策検討が望まれる。	想定される被害の把握と被害縮小対策を講じる。	緊急時の職員収集においては緊急連絡網の実用性を確認するために定期的に連絡網の訓練を実施する。停電時の対策として各ユニットに懐中電灯・携帯ラジオの設置、非常灯の点検を実施する。	1ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。